

# 小山高校令和5年度入試・結果分析総括

信じる **Trust!** 育てる **Foster!** 支える **Support!** 進路指導部

## 1 令和5(2023)年度入試のトピックスと受験環境

2023年度入試の受験環境

### 競争緩和

#### 志願者減少と入学定員増

- 大学志願者数減少  
18歳人口は今春からさらに2万人減少、前年入試の緩和で既卒生も減少し入学者数を維持するため、合格者数はさらに増加の見込み
- 国公立大・私立大で定員増  
特例で国立3大学で定員増、新增設・公立化などとあわせ8百人超私立大は約3千人規模

### 大学の機能強化

#### 政府主導ですすむ大学改革

- 主体的に改革を進める大学への支援  
・デジタル・グリーンなど成長分野の学部設置・転換に助成金  
・複数大学の連携事業への支援（連携大学法人、地域活性化人材育成事業）  
・デジタルリテラシー向上を目的としたデータサイエンス等の履修促進  
・文理横断教育推進の観点から入試科目の見直し促進  
・自然科学系で女子学生の確保に積極的に取り組む大学への支援強化
- 取り組み不十分な大学への対応  
・経営困難な大学へ、撤退を含む判断促す指導  
・定員未充足大の私学助成見直し、情報非公表大への減額強化  
・修学支援新制度の機関要件の厳格化

### 大学志願者数減と入学定員増で大学入試は競争緩和の時代

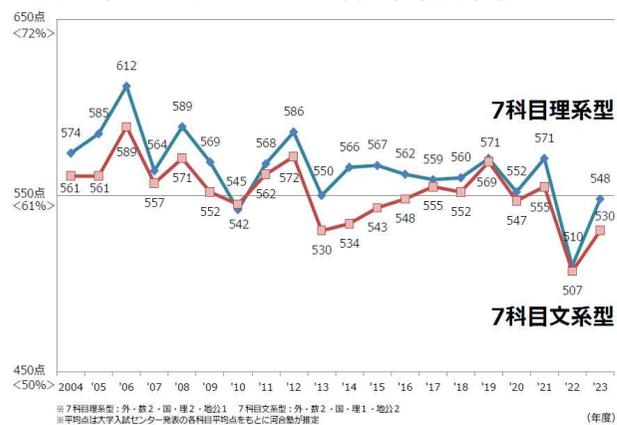
#### ● 18歳人口・大学志願者数の推移



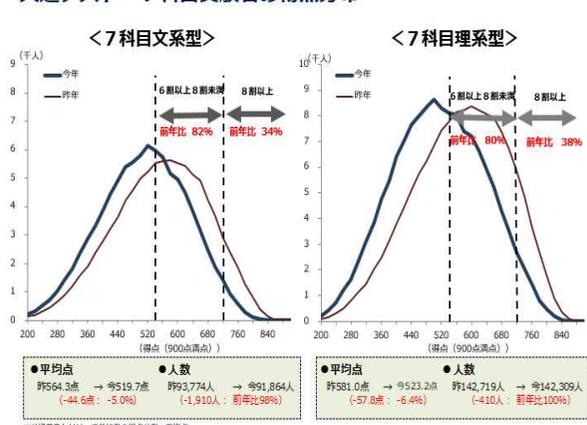
## 2 大学入学共通テスト分析

■ 全国5教科文系平均 昨年から +38点大幅↑↑ 平均点548点  
 ■ 全国5教科理系平均 昨年から +27点大幅↑↑ 平均点530点

共通テスト・センター試験 7科目型平均点の推移

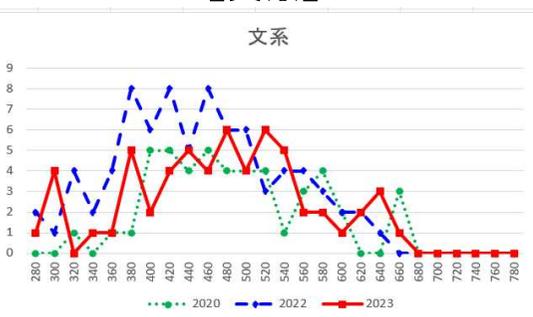


共通テスト 7科目受験者の得点分布

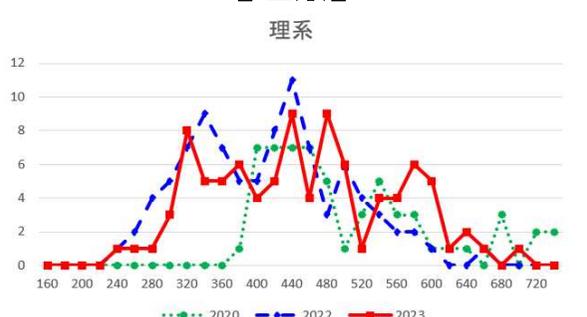


## 校内概況

### 【文系】



### 【理系】



- 文系：昨年度より全国平均点が上昇したことにともない、本校も中上位層が厚くなった。特に、500点以上が例年より厚めだったことからよく健闘した！！
- 理系：全国よりも本校の平均点の上昇率が高かった。さらに国公立大学の合格可能性が高くなる475点以上が、例年より厚かったことからよく健闘した！！

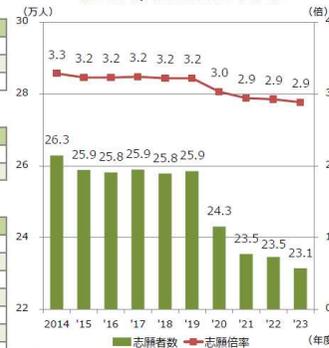
## 2 国公立大学入試

### 国公立大の志願状況①（全体概況）

#### 国公立大志願者数の変化

全体概況	2022年度	2023年度	前年差	前年比
前期日程	234,557	231,430	-3,127	99%
後期日程	163,412	160,067	-3,345	98%
中期日程	31,380	31,663	+283	101%

#### 前期日程志願者数の推移



#### ● 国立・公立別（前期日程）

	2022年度	2023年度	前年差	前年比
国立大学	179,318	176,464	-2,854	98%
公立大学	55,239	54,966	-273	100%

#### ● 地区別（前期日程）

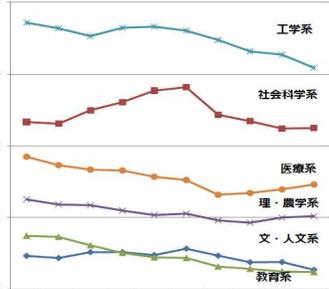
	2022年度	2023年度	前年差	前年比
北海道	11,559	11,250	-309	97%
東北	18,560	17,620	-940	95%
関東・甲信越	70,370	71,122	+752	101%
北陸・東海	31,455	31,246	-209	99%
近畿	40,085	40,218	+133	100%
中国・四国	31,366	30,104	-1,262	96%
九州	31,162	29,870	-1,292	96%

### 国公立大の志願状況②（系統別）の状況

#### 学部系統別志願者数の変化



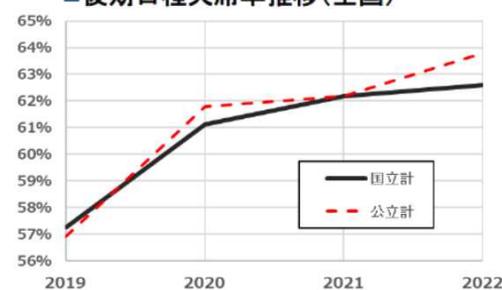
#### 学部系統別志願者数の推移



## □ 後期欠席率 過去最高約61.3% 上昇継続!! (3人に2人は欠席)

近年の受験生は最後まで粘りきれない、見かけの倍率が高く諦めてしまう、また通える私立でいいと決めてしまいがちな生徒が多いことから後期欠席率は年々上昇し続けている。欠席率が高いことから後期の実質倍率は低く、本校生徒も例年後期まで頑張り切った生徒が、厳しい判定でも逆転合格しています。だから、やはり見かけの倍率にごまかされず後期まで頑張り続けることが、国公立合格の鉄則である。

### ■ 後期日程欠席率推移(全国)



## 3 国公立大学概況（本校）

- ◎ 今年度61名合格!!
- ◎ 3力年:約180名合格!!
- ◎ 一般選抜合格率45%
- ◎ 全国平均22%約2倍!!
- ◎ 難関：東京工業大
- ◎ 北海道大学合格!!
- ◎ 宇都宮大：14名合格!!

### 国公立大学合格者数



# ◎総合型選抜・学校推薦型選抜【過去4力年分析】

## ■国公立大学

**97名出願して、51名合格!! 合格率53%**  
**全国平均30%を大きく上回り、高い合格率!!**

### ※特に、宇都宮大学

●26名出願して、17名合格!! **合格率65%**  
 ●特に工学部は、**合格率83%**

## ■国公立大学合格者数 ベスト3

①宇都宮大	19	②群馬大・山形大	5	④茨城	4
-------	----	----------	---	-----	---

## ■難関国公立：東京工業大学・北海道大学 金沢大学に、計5人合格!!

《参考》

2013年度	3名	【東北1、東京農工1、筑波1】
2014年度	5名	【筑波2、東京農工1、東京学芸1、横浜国立1】
2015年度	4名	【名古屋1、千葉3】
2016年度	4名	【山梨・医1、千葉1、金沢2】
2017年度	5名	【筑波1、金沢2、広島2】
2018年度	3名	【東京医科歯科1、金沢1、山口東京理科・薬1】
2019年度	7名	【東北2、筑波1、千葉2、横浜国立1、金沢1】
2020年度	2名	【筑波1、千葉1】
2021年度	4名	【東京工業1・横浜国立2・金沢1】

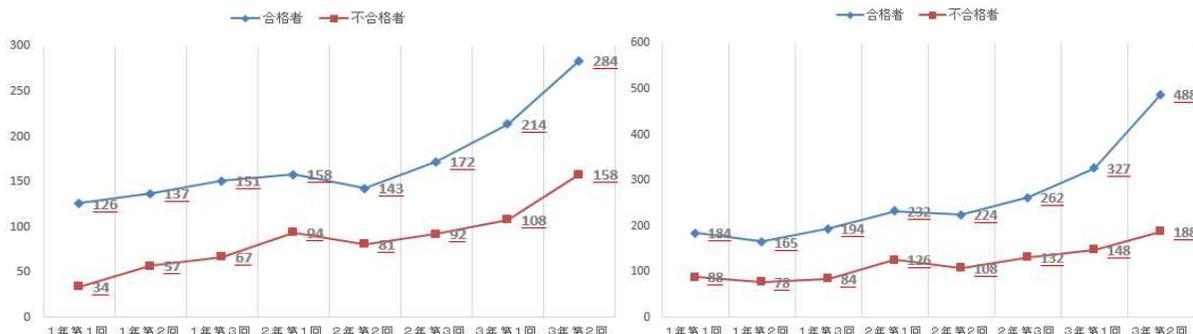
## ■校内模試との相関は明確【5教科7科目900点満点】※過去10ヶ年の分析

- ◎国公立大学合格者【校内模試平均】**385点**(得点率**43%**) 昨年384
- ◎宇都宮大学合格者【校内模試平均】**390点**(得点率**43%**) 昨年392
- ◎難関私立大合格者【校内模試平均】**303点**(得点率**51%**) 昨年302

## ■国公立大学合格者《学習時間と教科数》との相関大

国公立大学学習時間【平日】分析

国公立大学学習時間【休日】分析



《単位は分》

### ◎1日学習する教科数

【平日】1・2年生：英・数+1教科  
 3年生：□国公立志望 4教科以上 □私大専願 私大の受験教科

【休日】1年生：英・数・国+1教科、2年生：5教科  
 3年生：□国公立志望 5教科以上 □私大専願 私大の受験教科

# 私立大学入試

## 私立大の志願状況① (全体概況)

### 私立大志願者数の変化

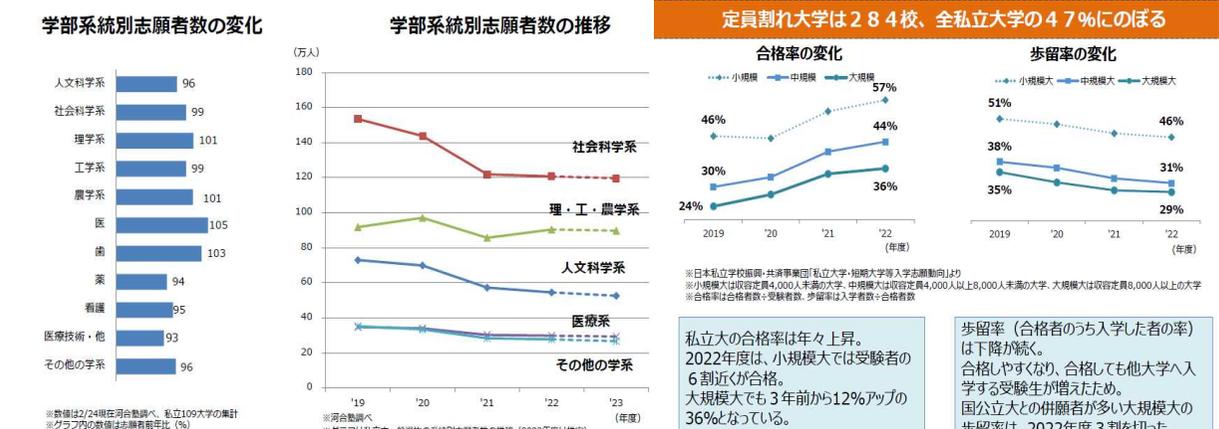
全体概況	2022年度	2023年度	前年差	前年比
全体	2,384,844	2,338,775	-46,069	98%
一般方式	1,594,568	1,550,459	-44,109	97%
共通テスト利用方式	790,276	788,316	-1,960	100%

大学グループ別	2022年度	2023年度	前年差	前年比
早慶上理	206,679	204,270	-2,409	99%
MARCH	384,117	375,466	-8,651	98%
成成明碩武	91,711	91,084	-627	99%
日東駒専	249,393	244,677	-4,716	98%
理系10大学	268,839	269,593	+754	100%
女子12大学	52,158	49,331	-2,827	95%
関関同立	239,460	251,751	+12,291	105%
産近甲龍	244,888	243,830	-1,058	100%
北星学園・北海学園	9,654	8,302	-1,352	86%
東北学院	11,901	11,754	-147	99%
南山・中京・愛知・名城	106,683	101,422	-5,261	95%
西南学院・福岡	60,867	60,013	-854	99%



## 私立大の志願状況② (系統別の状況)



## ◎志願状況

- ①志望者指数は、今年度始めて減少に転じ・競争は全体的に緩和。
- ②難関私立大学の志願者はほぼ横ばい。競争緩和でやや易化した。
- ③総合型選抜・学校推薦型選抜は昨年並。

## ■学部系統：昨年に引き続き、国公立大学同様、ほぼ理高文低に！！

【文系志望者】ほぼ昨年並「人文学系」で減少。  
 【理系志望者】「理・工・農」は前年並み。「医」、「歯」は増加、「薬」、「看護・医療技術系」で減少。

## ◎難関私立大学 32名合格！！



## ■難関私大計32名合格 R1(32名)→R2(34名)→R3(42名)

※主な難関私立大学

慶応	1	学習院	2	青山学院	3	明治	2	立教	1
中央	3	法政	8	東京理科	10	立命館・関西学院			2

指定校等安易に妥協しないで、最後まで志望校・難関大の合格を目指して、ほぼ例年並の合格者が出た。よく諦めずに健闘した！！

## ■中堅私大計151名合格 R1(158名)→R2(218名)→R3(208名)

※主な中堅私立大学

日本	16	東洋	24	駒澤	7	専修	2	成城・成蹊・國學院・武蔵	4
明治学院	4	大東文化・亜細亜・帝京・国士舘	31	順天堂・杏林					4
文教	15	獨協	9	日本女・昭和女・大妻女・共立女・女子栄養	6	東京電機			11
芝浦工業	4	東京都市	9	工学院	2	東京農業・東京家政			3

例年より①総合型・学校推薦型選抜を積極的に活用して合格者が増加したことにより一般選抜者が減少②共通テスト利用が減少。③家庭の経済事情より一人当たりの受験校数が減少したことに合わせて、私立大学の合格者延べ数が減少した。

## ■私立大学合格者数上位ランキング

①白鷗大	46名	②日本工業大	38名	③日本大	16名	④文教大	15名
------	-----	--------	-----	------	-----	------	-----

## 5 総合型選抜・学校推薦型選抜について

### ◆国公立大学

過去5カ年：125名出願 → 72名合格!! 【合格率 58%】  
 全国平均30%の約2倍、高い合格率!!

◎特に、数理科学科の合格率は68%と普通科より高い!!  
 →数理科学科課題研究等が、この選抜で高く評価される。

### ◆宇都宮大学：

過去5カ年35名出願 → 25名合格!! 【合格率 71%】  
 ※特に、工学部の合格率は、75%

◆私立大学 過去5カ年：378名出願→342名【合格率 90%】  
 指定校推薦は、今年度は47名  
 ※R1(46名) → R2(39名) → R3(47名)

小高生の素直・謙虚・実直な人柄は、大学等から高く評価されるので、本校は総合型選抜・学校推薦型選抜はとて有効な戦略!!積極的にチャレンジ!!

## 6 医療系入試について

新潟大学・歯学部・埼玉県立大学・保健医療  
 自治医科大学・看護・獨協医科大学・看護に現役合格!!

- ◆国公立大学志願者：「看護」は減少。「薬・医療技術」は増加。
- ◆私立大学志願者：「看護・医療技術」、「薬」は昨年の減少傾向を維持。  
 【私立大学】自治医科、獨協医科、国際医療福祉、足利、群馬パース、北里・神戸薬科・目白・帝京、日本医療科学、つくば国際等  
 【看護専門学校】栃木県衛生福祉大学校、獨協医科大学附属看護専門学校等。

## 7 就職 1名 コマツ小山工場

※例年1~2名（警察・消防・市役所等公務員）

## 8 浪人 R1:7名 → R2:6名 → R3:8名 → R4:8名

## ■小山高校の進路指導について

### 1 進路指導部の指針

◎『行き先』指導ではなく、『生き方』指導

『生徒のモチベーションを上げる』仕掛ける・攻めの進路指導』  
 『信じる』Trust! (生徒の可能性を信じる!)  
 『育てる』Foster! (生徒のモチベーションアップを図り、夢を育てる!)  
 『支える』Support! (生徒と最後まで付き合い、全力で支える!)

### 2 効果的な進路指導のための 2つのキーPoint

#### (1) キーその1~ 3年間の指導方針を明確にして指導する

◎全学年：基礎・基本の徹底・自主学習能力の育成  
 朝学【毎日40分×約600日(3年間)＝約400時間以上】

<1年次進路指導>

職業理解、大学理解→→文理選択決定

■キャリア教育【7月：職業理解：文理選択】※アクティブラーニング形式  
 1日大学見学会・進路講演会(10月)、進路・受験指導(各学期)、等。

<2年次進路指導>

■学部・学科、入試制度理解→大学に行く意義の理解を深め→志望進路先の決定  
 →志望理由書の作成

■学部・学科・学問説明会(5月)・進路講演会(11月)

進路・受験指導(各学期)、  
 総合的な探究時間に係る小山高校進路探究プログラム(OTP)、等。

<3年次進路指導>志望進路の実現

#### (2) キーその2~

仲間の声を力にし、チーム小山の意識を高める!

◎『受験は団体戦!』仲間の声を力(One for all, All for one)  
 みんなで頑張る雰囲気・仲間への「気づき」が生徒を成長!!  
 →「チーム小山」の意識・形成

### 3 だから、小山高校は・・・

#### 東京工業大学に合格した先輩から

小高の先生方は丁寧に生徒一人一人に向き合い、真剣に考え、全力で指導して下さいます!!ですから、高校入試では350点程度の私が、東大・京大の次のレベル、もちろん到底無理と思われた東京工業大学に合格できたのも、そんな先生方や



支え合う友人たちがいたからと、心から思います。また私は、小高の指導だけを信じて、素直に努力を重ねることで、自信を持って入試に挑み、合格できました。私は、小山高校で高校生活を送れたことを、誇りに思います。小高は自身の可能性・力を最大限引き出してくれる最高の学校です!!

小山高校は、高校入学後から卒業までに、生徒が本来持っている良さ・力・可能性を引き出し、またそれを、最大限伸ばしてきた実績のある学校です。